

映像文化論		客員教授 林 勝彦	
科目カテゴリー	国際ビジネス学科の教養選択科目	科目ナンバリング	22200128

1. 授業のねらい・概要

今、君たちが見ておくべき「映画」と「テレビ」の古典的名作を見ます。なぜ、受賞作品になりえたのか？映像文化論の視点からその理由を、分かり易く解説します。楽しく学んで、今後の皆さんの人生に教養として、大いに役立て欲しいと思います。

2. 授業の進め方

名画、名作は、必ず感動を もたらしてくれます。世界的な監督が、優れた脚本と優れた俳優のもと、撮影、音楽などを統合し芸術作品へと昇華させるためです。映画とテレビは、時代と文化を写す鏡なのです。映像を見る前に、簡単な解説をしたり、視聴後、感想を聞く場合もあります。

3. 授業計画

<p>1. 講師と学生の自己紹介。 将来目標は？ 自作を語る NHK「脳と心」映画「いのち」</p> <p>2. 世界初の映画とは？ エジソンとリュミエール</p> <p>3. 「ローマの休日」前編 なぜ、世界的な古典か？</p> <p>4. 「ローマの休日」後編 W・ワイラー監督とO・ヘップバーン</p> <p>5. 世界初のテレビジョンとは？ 「遠くを」+「見る」</p> <p>6. NHK 自作「青春法廷」学生必見のドキュメンタリー</p> <p>7. 邦画「用心棒」 邦画三大巨匠①黒澤明監督</p> <p>8. 学生と語る 「映像文化論」</p>	<p>9. メディアリテラシー 「ペンタゴンペーパーズ」に学ぶ</p> <p>10. 「東京物語」前編 世界NO1の名画選定理由は？</p> <p>11. 「東京物語」後編 邦画三大巨匠②小津安二郎</p> <p>12. 「サンウド・オブ・ミュージック」 なぜ、ミュージカルの名作なのか？</p> <p>13. 「雨月物語」国際賞受賞 邦画三大巨匠③溝口健二</p> <p>14. 娯楽邦画「巖流島の決闘」 4人の監督3人の名優・徹底比較</p> <p>15. 「羅生門」国際賞” 初受賞” 試験対策ノートの整理と纏め</p>
--	---

4. 準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

- ・予習は、授業で視聴する作品をWikipediaで調べ、専用ノートに①監督名②俳優名③受賞名を記入する事。
- ・必要時間は、30分。

5. 課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法

- ・試験前の授業で、課題を出す。試験当日迄に、専用ノートに記述。試験日に持参。面接試験を実施。そこでフィードバックする。
- ・作品の感想は、挙手により何人かに発表させるが、全員専用ノートに記述。

6. 授業における学修の到達目標

- ①多面的な物の見方が出来る教養と共に、自分の「脳と心」で考え、個人の意見を持つ。
- ②就職試験や社会人として役立つ、プレゼン能力

7. 成績評価の方法・基準

- ①真摯さと意欲 30%
 - ②プレゼン・発言力 30%
 - ③試験(ノート持込可) 40%
- 以上3点を、客観的・総合的に判定。

8. テキスト・参考文献

特に無し。必要資料は配布。

9. 受講上の留意事項

- ①専用手書きノートが必須。未提出者は、不可。
- ②授業時間内のお喋りも、不可。退場。